

学習園の植物紹介

植物紹介の見かた

写真のような姿がご覧いただける季節の目安

東京都レッドリストカテゴリーの略号

本土部：2020年版
島嶼部：2011 年版

『日本維管束植物目録』
(2012, 北隆館) に準じた種名

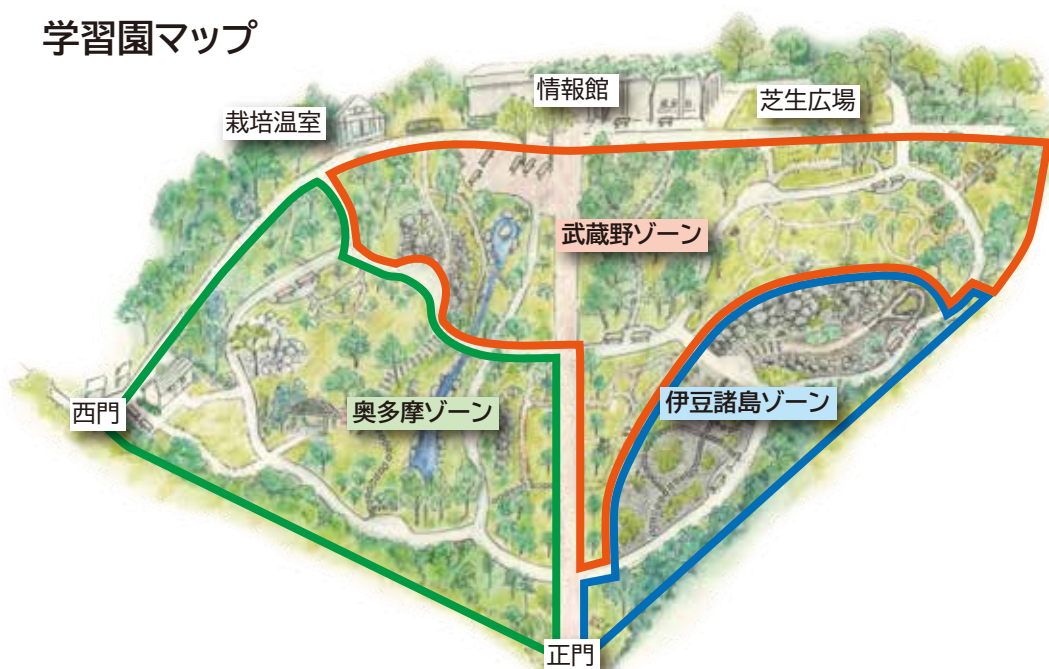


春

本土部：NT
島嶼部：VU

エビネ

学習園マップ



『東京都レッドリスト』とは？

レッドリストとは、絶滅のおそれのある野生生物のリストです。1964 年に国際自然保護連合(IUCN)が最初のレッドリストを作成し、その後日本でも、環境省や各都道府県において独自にレッドリストが作成されました。東京都では、1998 年に最初の『東京都レッドリスト』が発行され、おおよそ 10 年ごとに調査及び改定が行われています。

レッドリストでは、野生生物の種ごとの絶滅のリスクがカテゴリーで評価されており、環境アセスメントなど、野生生物に配慮した行政等を推進するための基礎的資料として活用されています。



東京都レッドリストカテゴリー（抜粋）

略号	カテゴリー	基本概念（概略）
EX	絶滅 Extinct	過去に生息していたことが確認されているが、すでに絶滅したと考えられる種
EW	野生絶滅 Extinct in the Wild	栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種
CR	絶滅危惧ⅠA類 Critically Endangered	ごく近い将来、野生での絶滅の危険性がきわめて高い種
EN	絶滅危惧ⅠB類 Endangered	近い将来、野生での絶滅の危険性が高い種
VU	絶滅危惧Ⅱ類 Vulnerable	種を減少させる要因が取り除かれない場合、近い将来、絶滅危惧Ⅰ類になると考えられる種
NT	準絶滅危惧 Near Threatened	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、絶滅危惧になる要素を持っている種
DD	情報不足 Data Deficient	絶滅危惧になる要素を持っているが、ランクを判定するための情報が不足している種

絶滅危惧種

※詳細は『東京都レッドリスト』をご確認ください。

奥多摩ゾーン



奥多摩ゾーンでは、東京西部の山岳地帯の植物を展示しています。

奥多摩は、本来自然度の高い地域ですが、戦後に大規模な植林が行われ、山地のほとんどがスギ・ヒノキの人工林となっています。加えて近年では、二ホンジカの食害も増え、自生する多くの植物が絶滅危惧種となっています。また、かつて海底であった地層が隆起してできた石灰岩の露頭が随所に見られ、石灰岩地特有の希少植物が自生しています。

学習園の展示では、高標高地の冷温帯のブナやイヌブナに代表される落葉広葉樹林エリア、サワグルミなどの生える湿生林エリア、春にヤマシャクヤクの咲く石灰岩地エリアなどがあり、四季を通じて山地の植物を楽しむことができます。

春



本土部：NT
島嶼部：DD

ムラサキ科

ヤマルリソウ

丘陵地や山地の沢沿いの崩壊地や、湿り気のある斜面などに自生する小型の多年草です。東京都では、本種は準絶滅危惧、同属のルリソウは既に絶滅していますが、学習園では両種をご覧いただけます。

秋



キク科

オヤマボクチ

明るい山地の斜面や、登山道沿いなどに自生する大型の多年草です。アザミを巨大化したような球状の紫色の頭花をつけます。名前は、葉裏に密生する白い毛を集めて、火口（ほくち）としたことによります。

夏



本土部：EN

キンポウゲ科

レンゲショウマ

深山に自生する多年草で、日本固有種です。奥多摩の御岳山には大きな群生地が知られており、小さな蓮のような可憐な花を細い花茎に吊り下げて咲く姿は、山草愛好家やアマチュアカメラマンのあこがれの的です。

冬



シソ科

シモバシラ

山地の林床などに自生する多年草で、初秋にシソに似た白い花を咲かせます。名前は、冬に枯れた茎の根元に氷の結晶を成長させることによります。学習園では厳冬の朝方、年に数回「氷の華」が現れます。



本土部：EN

アヤメ



島嶼部：DD

イヌショウマ



イヌブナ



アブラツツジ



イシミカワ



イヌトウバナ



アキカラマツ



アセビ



アブラチャン



アオイスマレ



アキノキリンソウ



アブラガヤ



夏

ウツボグサ



夏

島嶼部：DD

ウラハグサ



春

本土部：VU

オオツクバネウツギ



夏

本土部：EN

オオヒナノウスツボ



春

夏

ウリカエデ



春

エイザンスミレ



春

本土部：NT

オカタツナミソウ



夏

オカトラノウ



春

本土部：NT

オウギカズラ



夏

オオカモメヅル



夏

オガルカヤ



夏

オトギリソウ



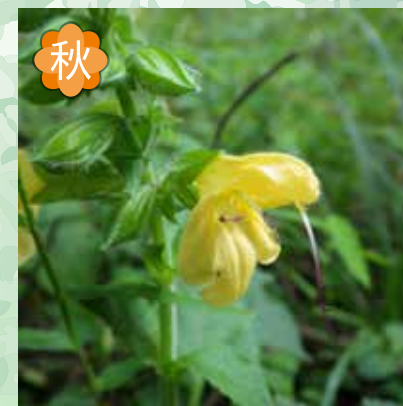
オトコヨウゾメ



オドリコソウ



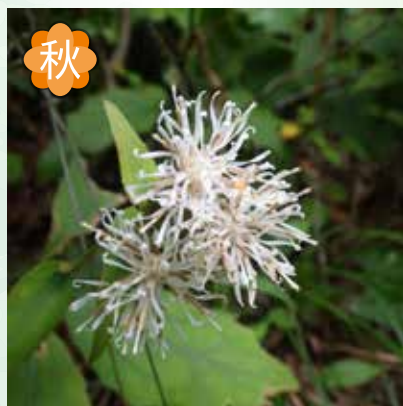
キハギ



キバナアキギリ



ガガイモ



カシワバハグマ



クサソテツ



クサタチバナ



キクタニギク



キツリフネ



コアジサイ



コウヤボウキ



コオニユリ



コクサギ



コバギボウシ



サイハイラン



コゴメウツギ



コシオガマ



サワハコベ



シバヤナギ



コシダ



コチャルメルソウ



ジュウニヒトエ



シラキ



春

シラスゲ



春

ジロボウエンゴサク



春

本土部：NT

タチタネツケバナ



夏

タマアジサイ



夏

本土部：EN

スズサイコ



秋

セキヤノアキチョウジ



夏

本土部：VU

タマガワホトギス



夏

本土部：EN

島嶼部：DD

タムラソウ



春

本土部：VU

ゼンテイカ



春

タカオスミレ



春

ダンコウバイ



春

チゴユリ

夏



本土部：NT

チダケサシ

秋



チドリノキ

夏



島嶼部：DD

トキリマメ

夏



本土部：EN

トモエソウ

春



ツリバナ

秋



ツリフネソウ

秋



ナキリスゲ

秋



ナンテンハギ

秋



島嶼部：CR

ツルニンジン

秋



島嶼部：NT

テンニンソウ

春



本土部：EN

ヌカボシソウ

夏



ネジキ



夏

ノガリヤス



秋

ノコンギク



春

ハウチワカエデ



夏

本土部：NT

ハグロソウ



夏

本土部：CR

ノハナショウブ



夏

ノブキ



春

本土部：EW

ハクロバイ（ギンロバイ）



春

ハナイカダ



夏

本土部：EN

バアソブ



夏

バイカツツジ



春

本土部：CR

ヒイラギソウ



春

ヒカゲスゲ



春

本土部：EN

ヒカゲツツジ



春

島嶼部：VU

ヒメウス



夏

フジカンゾウ



夏

本土部：EN

フシグロセンノウ



春

ヒメウツギ



夏

ヒメキンミズヒキ



春

フユイチゴ



春

ベニシダ



春

本土部：CR

ヒメシャガ



春

本土部：VU

ヒメニラ



春

本土部：VU
島嶼部：CR

ホタルカズラ



秋

本土部：VU
島嶼部：CR

ホトギス



ミヤコグサ



メグスリノキ



ヤクシソウ



ミツバツツジ



ムラサキケマン



メハジキ



マルバウツギ



ミシマサイコ



ミツバツチグリ



マユミ



マルバヤナギ



ミズタマソウ

春



島嶼部：CR

ヤブレガサ

夏



ヤマアジサイ

秋



島嶼部：VU

ヤマハッカ

秋



ヤマホトトギス

秋



本土部：NT

ヤマジノホトトギス

春



本土部：VU

ヤマスズメノヒエ

秋



リュウノウギク

夏



リョウブ

秋



本土部：NT

島嶼部：VU

リンドウ

春



本土部：EX

ルリソウ

東京の「ホトトギス」

東京都に自生するとされるホトトギスの仲間は、丘陵地から山地に見られるヤマホトトギスとヤマジノホトトギス、丘陵地の谷戸や奥多摩などに見られるホトトギス、奥多摩の深山に見られるタマガワホトトギスの4種です。

公園や日本庭園などで、「ホトトギス」として植栽されているものの大半はホトトギスとタイワンホトトギスの交配種のニワホトトギスで、雑種のためほとんど種子をつけません。花色や花の咲き方も両種の間で、強健でよく増えます。野生種のホトトギスは、頂点で分枝せずに、葉腋に一輪ずつ大輪の赤紫色の斑点のある花を平開させます。